

学校保健委員会だより



令和5年10月11日
柏崎市立東中学校
学校保健委員会担当

東中学校 学校保健委員会を実施しました

令和5年9月20日（水）、保護者10名の方からご参加いただき、学校保健委員会を開催しました。今年度は、「性の多様性の理解」を目標としました。会の様子をご紹介します。

<事前学習>

講演会の前に、学年朝会の時間を利用し、事前学習を行いました。「性のあり方（セクシュアリティ）を構成する4つの要素」をはじめ、「SOGI（ソジ）」、「LGBTQ+」等、多様な性の捉え方について学習しました。

1 講演会

講師：YouRbe(ゆあるびい) YuiTo 様

演題：「これからの時代を生きる皆さんへ ～Xジェンダーってなんですか？～」

Xジェンダーとは、性自認（心の性別）が男性にも女性にも属さない（または属している）人のことです。

Xジェンダーは一人一人がそれぞれ違った性自認を持っています。Xジェンダーの性自認は人の数だけ存在します。



Xジェンダーの心の性別は様々で、Xジェンダーは以下の分類ができます。

- ・中性：性自認が男性と女性の間
- ・両性：性自認が男性でも女性でもある
- ・無性：性自認が男性でも女性でもない
- ・不定性：性自認が揺れ動く
- ・その他：4つのどれにも属さない



性的指向（好きになる性別）で、自分の性自認（心の性別）が決まることはありません。性自認と性的指向は関係ありません。性自認はあくまで「自分自身の心の性別」です。

ただ、「Xジェンダーを理解してほしい」ということを訴えるだけではお互い苦しい思いをしてしまうということに気付かされました。「お互いの思いを尊重」しながら、「どう関わっていくか？」が大切なのだと気付きました。



お互いを「理解し合うこと」を押し付け合う必要はありません。そこに相手に対する思いやりと寄り添う気持ちがあれば、より良い関係を築いていけるはずです。

それはきっと、どんな人間関係を築くにも忘れてはいけな
いココロだと思います。ぜひ皆さんも、そのココロを忘れず
に大切な人たちと接してみてください。

2 グループワーク

2つの問について考えました。自分の考えを付箋に書き、その後、班の人と共有しました。生徒や保護者から出た意見を紹介します。



問1：東中学校の制服は、スラックスやスカートが選べる、ジェンダーレス制服の制度が取り入れられています。この制度についてどう思いますか？

- ・一人ひとりの自由があり、自分らしさを表せることだと思う。
- ・人それぞれ着たい服があるからいいと思う。もっと浸透するべきだと感じる。
- ・一人ひとりの個性を尊重している考え方だからいいと思う。
- ・不自由な思いをする人がいなくなり、それぞれが個性を出せるのでいいと思う。
- ・自分の好みに合わせられるし、悩みが減ると思う。安心して生活できることにつながりいいと思う。
- ・怪我の予防にもつながる。
- ・男子がスカート履くことについては、まだハードルがあるように感じる。

ジェンダーレスとは？

男女間における区別や性差の境界線をなくすこと。または、男性・女性の概念を取り払おうという考え方。

問2：性別に違和感を抱えている人達も、そうでない人達も、みんなが楽しく過ごしやすい学校生活を送ることができるために、私たちに出来ることは何だろう？

- ・見た目にとらわれず、その人の内面をみる。
- ・一人ひとりの意見を尊重し、認め合う。
- ・容姿や性格、思想等は、人それぞれだから、決めつけない。
- ・優しい雰囲気づくりをする。
- ・知識を持って、理解し受け入れる。
- ・誰かが、違和感を覚えている人の気持ちを尊重して受け入れる。
- ・人と接するときは、男女という区別について考えず、相手を一人の人間としてみる等、平等に接していく。
- ・その人が生きやすいと思うことを受け入れる。
- ・性別を気にせず、積極的に関わる。
- ・どんな人でも受け入れる。
- ・普通に、いつも通りに接する。



3 生徒の感想

- ・これまで、自分の発言の中にも理解が足りないような発言があったかもしれないから、これからは気をつけていきたいと思った。
- ・個人を尊重する考え方を少しずつ取り入れて生活していきたいと思った。
- ・今回の話をきっかけに LGBTQ+ のことや Xジェンダーのことについて、いろいろ調べたり関心を深めていこうと思いました。
- ・当事者の方と接するとき、どうしたらいいかなど、性の多様性についてより深く学ぶことができて良かったです。
- ・いろんな人がいるから、自分や今までの考えを人に押し付けるんじゃなくて、その人の考えも取り入れて、自分の知識の幅を広げていきたいと思った。
- ・性は男性、女性で簡単に分けられるものではないと分かった。自分には関係ないことだと考えていたけれど、身近な問題なんだと思った。性で見るのではなく一人の人として見ていきたい。

YuiTo 様の講演から多くのことを学ぶことができました。自分や相手を大切に考えながら、誰もが安心できる学校や社会をつくることができるよう、過ごしていければと思います。

子どもたちが心身ともに健やかであるよう、今後も学校保健委員会の活動にご協力をよろしくお願いいたします。

